

# 議会だより

うれしの



# 6月 定例会

平成23年第2回定例会が6月3日から20日まで18日間の日程で開催されました。  
 23年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・条例の制定・一部改正など8議案が提案されました。  
 今回の議案については全員賛成で全て可決しました。  
 賛否表はP5  
 一般質問は、12名が3日間にわたり市政を質しました。

## 被災地域の企業を支援

### 被災企業への誘致条例を制定

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。

嬉野市は、東日本大震災で被災した企業が、嬉野市において事業活動を継続できるように、必要な支援活動をおこなうため、土地・建物の賃借料や設備機器の購入・賃借料の半額を補助する条例を制定しました。



久間地区にある工業団地

支援措置の種類	交付額	対象期間	限度額	備考
土地及び建物賃借料	土地及び建物賃借料×1/2	1年間	500万円	市以外からの補助金を差し引いた額の1/2
設備費	設備機器の取得額×1/2	1回限り	500万円	操業開始日から1年を経過した日までの経費
	設備機器の賃借料×1/2	1回限り	500万円	
住宅手当	住宅手当支給額×1/2	1年間	なし	市内に住所を有する者

# 商品券で被災地を支援

嬉野市商工会では、売上の一部を被災地へ寄付する目的で義援金付プレミアム商品券・宿泊券が発行されます。

この商品券は、東日本大震災の影響による自粛ムードを払拭し、嬉野市内の地域商店や旅館業などでの消費を拡大することによって、地域経済の活性化をはかるものです。

商品券・宿泊券の発行総額は5億5,000万円（内プレミアム分が5,000万円）です。

プレミアム分5,000万円は県と市が半分ずつ補助します。

消費者の購入方法は、商工会で一口1万1,000円の商品券を1万1,000円で購入します。

ただし商品券は、一世帯10口までです。

宿泊券は各旅館やホテルが販売しますが宿泊券の購入制限はありません。取扱加盟店の旅館や商店は1万1,000円の

商品券を商工会で換金するとき1万900円で換金します。

消費者が購入するときの100円と事業者が換金するときの100円の、あわせて一口当たり200円が、被災者義援金となります。

商品券・宿泊券が完売すれば総額1,000万円の義援金となりますので、市民のみなさまには

ご協力をお願いします。商品券・宿泊券の販売は、8月から2月末までの予定です。

なお、12月から2月末までは全県下の取扱店内の地域商店、旅館業の活性化のため、市内での消費を望みたいものです。



商品券で買い物

# 融資資金を 1,000万円に増額



融資を受けつける商工会窓口

東日本大震災の影響で中小企業の業績が冷え込むなか、嬉野市では市内の商工業の景気の悪化に対応し経営の安定化をはかるため、融資資金の貸付限度額と貸付期間を改正しました。

内容は、運転資金の融資額を500万円から1,000万円に、設備資金の融資額を700万円から1,000万円に増額しました。

また、貸付期間を運転資金で5年以内から7年

以内に、設備資金は7年以内を10年以内に延長しました。

平成23年7月1日から適用されています。

今回の改正により、より大きな資金需要や緩やかな返済計画などに対応できるように、嬉野市内の企業が元気をとりもとして、地域全体の活性化につながればと思います。

# 屋根つきの 多目的広場 建設へ



完成イメージ図

みゆき公園内に計画されている全天候型の多目的広場が、総事業費2億9,900万円で、平成24年度の完成を目指して整備されることになりました。

付属施設として、更衣室やシャワー室なども整備されます。

天候に左右されない大きな施設（50層×50層）で、市民にとっては、各地区で開催されている

ゲートボール大会や保育園などの運動会、小中学校のクラブ活動などいろいろな催しなどの利用が予想されます。

また、以前から嬉野市においては、社会人や大学などのスポーツ合宿の誘致に力を入れてきましたが、雨天時の練習場確保の要望もありました。

今回整備されることにより、合宿などの誘致に向けても弾みがつくこと

が期待されます。

念願の施設でもあり、最大限使用していくことが大事ですが、使用料金の設定や使用申込みの集中などによるトラブルを防ぐために慎重な対応が望まれます。

# 九州大会・全国大会

## を嬉野へ

これまで嬉野市では、減り続ける宿泊客を何とか増加させようと、宿泊を伴うスポーツ大会、研修会、老人会などの開催団体に対して、一定の条件が満たされた場合に補助金を交付する制度を実施してきました。

この制度を利用されたリピーターも増え、また各種全国大会や九州大会なども開催されるようになりました。

今回この制度に、追加という形で61万円が予算化されました。

内容としては、参加者500人以上で宿泊が20泊以上の九州大会には10万円、全国大会には20万円が、また参加者1,000人以上で500泊以上の九州大会には15万円、全国大会では25万円の補助金が、これまで制度の対象になっていたいなかった主催する団体に交付されます。

また、大会を主催する団体に属する嬉野市内の

支部組織にも2万円を交付することになりました。ただし、宿泊する団体と大会を主催する団体としての重複する交付はできません。

早速今年の9月には、全日本レディースソフトボール大会が、嬉野市で開催される予定で、前回の徳島大会では約1,000名の参加者で開催さ

れており、本年の嬉野市にも同程度の参加者が見込まれています。

これからは、この大会等誘致対策費を行政と民間が協力してさらにPRすることにより、九州の各種大会が数多く開催され、嬉野温泉の宿泊客が少しでも増加することを期待します。



多くの人が楽しんでいるグランドゴルフ



# 4月 臨時議会

## 嬉野茶で

やすらぎの  
ひとときを



感謝された茶器とお茶セット

被災地への支援として、1,000万円を予算化し、仮設住宅に移られた方々を対象に、茶器とお茶をセットにして2,300個を配布することにしました。

4月と5月に岩手県と宮城県の仮設住宅を一軒一軒訪問し、延べ10名の職員で配布されました。

仮設住宅で生活されている被災者の方々に、嬉野茶を急須で飲んでいただくことで、少しでもやすらぎのひとときを感じていただければと思います。「いただいた被災者の方々からは、お礼の手紙やメールが届いています。」

## 被災者・被災地支援に

## 職員を派遣

岩手・宮城・福島県においては、広範囲の災害によって業務が多様になり、行政職員の不足が生じています。

そのために被災者支援や被災地の復興のため、全国の市区町村から職員を派遣しています。

嬉野市においても職員

派遣の旅費が予算化されました。

第1陣として4月20日から4月27日まで2名を派遣し、6月末までに延べ6名が派遣されていますが、5月14日から5月20日と6月3日から6月9日の派遣は、被災された方々の心身のケアをす

るため、保健師が派遣されました。

今後も短期の職員派遣は続きますが、被災地の状況によっては、長期の専門職員の派遣も必要になると考えます。

## 避難されてきた方に 住宅支援

東日本大震災によって嬉野市へ避難されてきた方々への住宅支援と一時金として500万円が予算化されました。

住宅支援は、民間のアパートを借りられる場合に、月額5万円を最高額とし、6ヶ月以内の家賃を立て替えるものです。

対象世帯数は10世帯を予定しています。

一時金は、県がひとり当たり3万円を支給しますが、市でも2万円を上乗せして総額5万円とす

るもので、50人を予定しています。

6月現在で1世帯2人が嬉野市へ避難されています。

地震や津波による被害、福島第一原発の事故など、早く収束し、復興されることを祈るばかりです。

# 嬉野市の課題を調査

## 消防団と意見交換

### 総務企画常任委員会

消防団活動における問題点を団長、副団長、各分団長と意見交換をおこなった。

- ・意見交換での要点
- ・機能別団員制度による団員確保

- ・自主防災組織と消防団の関係

- ・防災士の資格取得

- ・女性消防団に看護師資格者の入団を

委員会の意見

機能別団員制度を検討中とのことであつたが、非常事態発生時のみの出勤となるので、正規の団員が早期退団し機能別団

員へ登録されることも考えられるので、慎重に進めてもらいたい。  
防災士と自主防災組織については、地域コミュニケーションのなかで立ち上げ、そのなかで防災士の資格をもった方がリーダーと

なり、避難訓練などをおこなう必要がある。

地域における生命財産を守るためには、現場で活動する消防団と避難誘導などをおこなう自主防災組織が綿密な連携がとれる形を早期に形成されることを望む。



意見交換風景

## 町並み保存会と意見交換

### 文教厚生常任委員会

今後の塩田津町並み保存において、現状の把握と問題点を認識するため保存会と意見交換をおこなった。

- ・街並みに駐車場が少ない
- ・保存地区に係る観光施設



多くの意見がでた会場

策と保存対策は表裏一体であり、塩田津と志田焼き、有田町・鹿島市浜の伝統的建造物群保存地区とのネット

ワークが必要である。  
農業集落排水施設の未接続住居に、補助金をだし接続率を上げ、浦田川をきれいにしたほ

うがよい。  
・空き店舗対策が必要である。

委員会の意見  
保存会からの意見をふまえ、様々な意見が実現するように執行部へ要望する。

# 請願

教育予算の拡充を求める請願

請願者 嬉野市教職員組合

組合長 白石 桂子

紹介議員 西村 信夫



## 採択しました



のびのびと育てほしい

# 国政へとどけ地方の声

## 意見書3件提出

子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの定期接種化を求める

提出者 梶原 睦也 議員  
賛成者 山口 要 議員

神近 勝彦 議員

織田 菊男 議員

田中 政司 議員

園田 浩之 議員

(抜粋)

この3種のワクチンは、いずれも予防接種法で定める定期接種の対象外で、接種費用は原則全額自己負担となっているため、

①子宮頸がん予防、ヒブ（インフルエンザ菌b型）、小児用肺炎球菌の3ワクチンを予防接種法による定期接種の対象とすること。

経済的な理由で断念する人もいるが、しかし国からの半額補助事業ができたので、全市町村が3種類のうちいずれか助成する方向である。

②平成23年度末までとなっている国の補助事業が期限切れになれば、公費助成を打ち切らざるを得ない自治体もでてくることから、上記の定期接種化が平成23年度末までに間に合わない場合は、補助事業を延長すること。

接種率向上のためには国をあげての広報活動を実施すべきで、次の事項を強く要望する。

接種率向上のためには国をあげての広報活動を実施すべきで、次の事項を強く要望する。



教育予算の拡充を求める

提出者 園田 浩之 議員  
賛成者 平野 昭義 議員

山口 要 議員  
神近 勝彦 議員  
田中平一郎 議員  
山口 忠孝 議員

(抜粋)

① 全学年における35人学級を早急に、着実に実行することは、国としての

大きな責務であり、また(教育の機会均等)は憲法・教育基本法にも謳われているが、自治体間の格差の広がり懸念されている。

子供たちの教育は重要であり、将来への先行投資として人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があることから、次の事項について強く要望する。

① 小学2年生から中学3年生における35人以下学級を早急に実現すること。

さらに、より豊かな教育環境を整備するために、35人以下からさらに踏み込んだ施策を計画実施すること。

② 教育の機会均等と教育水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

電力需給対策を早急に打ち出せ

提出者 山下 芳郎 議員  
賛成者 田中 政司 議員

大島 恒典 議員

(抜粋)

夏場の電力不足を前に政府及び国会は、予算措置を含めた電力需給対策を早急に打ち出すべきである。

よって政府及び国会におかれては、次の事項を速やかに実現されるよう強く要望する。

① 自家発電設備、太陽光発電、蓄電池、太陽熱利用システム等の再生可能エネルギーの導入補助を大幅に拡充すること。  
② LED照明設備の導入

補助やエコポイント制度の復活など国民に対して節電のメリットが実感できる施策を早急

に実施すること。

③ 稼働中の原子力発電所の災害対策について政府として早急に指針を示し、安全対策を講じること。

④ 電力需給の逼迫が長期化するのを踏まえた法制度の見直しや運用改善について早急に検討し、必要な事項を実施すること。

# 陳情

市道東吉田両岩線の道路改良を

陳情者

春日区長 松本 廣夫  
上吉田区長 石丸 一弘  
峰川原区長 山口 弘  
真上吉田区長 山崎 秀明  
西川内区長 山口 政廣  
西吉田区長 松尾 辰好  
血屋区長 戸田 美徳  
納戸料区長 宮崎 春夫  
東吉田区長 井上松一郎  
両岩区長 市丸 義朗



離合しづらい道路

# へさまざまな意見

## 語ろう会に169人が参加

昨年までは小学校校区を基本に会場を設定していましたが、回数を重ねることに参加者が減少してまいりました。今年度は、ひとつの会場の対象エリアを小さくして、多くの方々に参加していただけるよう、5月23日から26日までの4日間、「下野公民館」「鍋野公民館」「吉田公民館」「大草野コミュニティセンター」「三坂公民館」「不動ふれあい集会所」「西山公民館」「楠風館」の8カ所で、午後



下野公民館の会場風景

7時30分から午後9時まで語ろう会を開催しました。各会場には、忙しいなかにもおおくの市民の皆様に参加していただき、ありがとうございます。総参加人数は169名でした。意見交換では、その地域の様々な意見や要望などがだされました。議会では内容を精査検討して、住みよい嬉野市となるように努めます。

- 1 多くの意見・要望のなかの一部を掲載します。
- 2 交通弱者が問題視されるなかで、下吉田線の今後についてはどうか
- 3 「シーボルトの湯」について改善を望む
  - ・ 駐車場の問題
  - ・ 湯温の問題
  - ・ 健全経営
- 4 塩田地区でも公民館などに子育て支援センターを設置できないか
- 5 いじめや児童虐待の防止対策として、佐賀市でおこなわれているCAP（キャップ）制を導入してはどうか。
- 6 山間部などにある狭地の畑や田を集積する事業をおこなうべき。
- 7 農地・水・環境保全向上対策事業の書類作成などは、地区の役員では煩雑すぎて苦勞している。
- 8 行政職員のサポートをもっと強化してほしい。

- 7 景観条例を提案する際には、各地区に説明会をおこない、理解を得てから施行すべき。
- 8 農業用施設整備事業の予算を拡充してほしい。また、小さな集落では原材料費の50割では事業ができない、見直しを。
- 9 イノシシ対策の強化を。そのほかにも多くの意見や要望をいただきました。



鍋野公民館の会場風景

# 市政と議会

## 一般質問は 次のページから

### アンケート結果

(169人の参加で152人分を回収)

#### 開催時刻はどうでしたか

早すぎる	ちょうどよい	遅すぎる	未回答	合計
19人	126人	6人	1人	152人
12.5%	82.9%	3.9%	0.7%	100.0%

#### 会議時間はどうでしたか

短かった	長かった	よかった	その他	未回答	合計
9人	5人	108人	2人	28人	152人
5.9%	3.3%	71.1%	1.3%	18.4%	100.0%

#### 開催時期はどうでしたか

ちょうどよい	変えたがよい	未回答	合計
126人	19人	7人	152人
82.9%	12.5%	4.6%	100.0%

#### 開催場所はどうでしたか

小さい場所	校区別	その他	未回答	合計
107人	33人	2人	10人	152人
70.4%	21.7%	1.3%	6.6%	100.0%

#### 内容はどうでしたか

よかった	ふつう	悪かった	未回答	合計
73人	73人	0人	6人	152人
48.0%	48.0%	0.0%	4.0%	100.0%

# 市長の対話集会は 健康増進一色に努めよ

平野 昭義 議員

## 答 健康増進日本一を目指し頑張る



はないか。

**市長** 健康づくりを第一に考え「健康増進日本一」の目標を目指し頑張っていく。

企業誘致予定地を早期に造成せよ

**平野** 県農林水産商工業立地課に、工業団地や中古物件の情報依頼があつている。

久間工業団地を早急に造成すべきだ。

**市長** 団地整備は予定のように入っていない、関係先と調整し進めていく。

**平野** 計画では、今年度で造成は完了となつていない。

来年度までに完了の約束はできないか。  
**市長** 地権者にいつまでも引き延ばすことはできないので精一杯努力する。

**平野** 3月議会で国民健康保険税引き上げが（9対8）で可決した。  
私は引き上げに反対し「健康増進日本一」の宣言を掲げ、市民総ぐるみの健康増進運動を展開し努力すれば、医療費は削減されていくと考えるが市長の熱意をうかがう。  
**市長** 予想以上の高齢化社会になり、健康増進の取り組みが必要である。  
現在、保健師が各地域団体に向き健康増進教室をおこなっている。  
**平野** 市内に「健康増進日本一」の宣言を掲げ、市民運動を展開すべきで

結婚支援課の取り組みについて

**平野** 伊万里市・武雄市に次ぐ結婚支援課が7月から設置されるが、両市と連携した取り組みは。

**市長** 以前から杵藤広域圏のメンバーで取り組んできたので、情報交換をしながら進めていきたい。

**平野** 武雄市は、240名（内男性160名）、伊万里市は、男女合わせて200名が登録されている。  
課の設置場所については、個人のプライバシーに配慮が好ましいと思うが。

**市長** 以前も部屋や推進委員を配置したが成果はなかったため、組織・団体と連携していきたい。

市内では比較的結婚は進んでいると思うが、年齢によっては結婚されていない方も多くおられるので、組織・団体のご協力をお願いしたい。



山口 政人 議員

## 集落間の防犯灯は市が設置を

### 答 防犯協会で設置を

**山口** 現在、集落内の防犯灯は地元が設置をしているが、集落間の防犯灯は複数の集落が絡むので設置が進まない、市が全額負担して設置をすべきではないのか。

**市長** 防犯協会とも協議をしながら設置していたらと思つている。

**山口** 北下久間、冬野、のぞえ地区に囲まれた中に3本の市道があるが街路灯が1ヶ所しかない。  
夜間に自転車、徒歩で通行していると、危険なので、市が全額負担すべきではないのか。

**市長** 意見があつたことは、囁託員さんなどに伝えていきたい。  
防災計画について

**山口** 市には防災計画があるが、問題は実効性である。

市内の各地域で災害の種類が違ふと思うが、どういった対応をしていくのか、具体的な計画が必要と思つているのか、認識されているのか。

**市長** ため池の問題とか、土石流の問題とか、そう



早期発見が大事



## 「救急医療情報キット」の整備をすべき

梶原 睦也 議員

### 答 必要であると考え

**梶原** 高齢者や障害者の安全確保のため「救急医療情報キット」の整備をすべきだ。

これは、プラスチックの円筒型のケースの中に氏名、生年月日、血液型、家族構成、緊急時の連絡先などとともに、かかりつけの病院や病歴、薬の副作用などの医療情報、本人の写真や健康保険証のコピーなどを入れて、ステッカーを貼った冷蔵

庫に保管しておき、災害時や救急発生時に救急隊員がこれを取り出し、その情報を元的確に処理出来るようにすることで、大切な命を守ることができ

る。電光掲示板が整備されており、緊急時には災害情報の配信、平時はニュースや地域行事、行政情報が流れ、なかにはAEDが整備されているタイプもある。

自治体と飲料メーカーが協定を結べば経費は全部飲料メーカーが提供してくれる。

**市長** 「救急医療情報キット」については必要であり、今後検討する。

**梶原** 災害時に手動や遠隔操作によって自動販売機の飲料を無償で取り出す

設置してはどうか。

**市長** 設置の場所とか管理の問題があると思うが、是非勉強させていただく

必要があると考えるので提案を機に研究する。

**梶原** 「被災者支援システム」は、現在、地震や台風などの災害発生時に被災者に対する被災証明書や罹災証明書の発行、義援金や生活支援給付金の管理など、地方公共団体による被災者支援業務

その他の質問  
災害時要援護者支援  
について  
学校現場での救命講習について



大町町で使用されている「いのちのバトン」

の管理など、地方公共団体による被災者支援業務

いうところは把握できているので、関係機関とも協議しながら対策をとっていききたい。

**山口** 自主防災組織の結成、育成に対し、どのように取り組んでいくのか。

**市長** 各地区での組織化については、「コミュニティ組織の充実とともに防災組織についても取り組んでいただきたいと思います。

市の財政について

**山口** 東日本大震災後の嬉野市の財政に及ぼす影響はどうか。

**市長** 今後の復興計画の規模により交付税などで心配しているが、特に特別交付税などについて減額されるのではと考えている。

**山口** 国では公共工事の5割が執行留保となっているが、この影響として下水道、集落排水、社会資本整備はどうなのか。

**財政課長** 社会資本整備交付金は事業費の6割の内示があっている。下水道事業は6割、集落排水事業は100割の内示があっている。



防犯灯が設置されていない集落間

# 原発の認識は変わったか

山下 芳郎 議員

答 代替の電力源が確保できる国にならなければならないと思う



**山下** 温度差発電を含めた新エネルギーの開発状況はいかがか。  
**市長** 幅広く検討する。  
**山下** ハザードマップは

市民に活かされているか。  
**市長** 全戸に配布して、行政囑託員会で説明した。  
**山下** 市民に説明することで利用目的が達成できるので集落ごとに説明すべきではないか。  
**総務部長** 市報などで周知をはかる。  
**山下** 「嬉野市防災の日」を作り市民の防災意識の高揚をはかることはしないか。  
**市長** 今の防災の日に合わせ、防災訓練を検討する。  
 クルーズ船乗客の受け入れを積極的にはかれ  
**山下** 博多港、長崎港、ハウステンボスは日本でも有数のクルーズ船が入港している。  
 特に中国は伸びる可能性が大きいので、観光協会と積極的に受け入れの環境と営業展開をはかるべきではないか。  
**市長** 船内での嬉野特産品の茶、陶器、菓子などの販売、また嬉野での宿泊も取り組みできるよう相手先と連携を深めたい。



**山口** 今回の震災は、世の中の大きなターニングポイント（変わり目）だと思う。  
 また、原発事故の教訓は、原発に頼らない社会をつくることだと思つ。  
 そこで、3月議会で小学校図書室にエアコン設置を可決したが、見直しはできないのか。  
**市長** 以前から要望があったところに今回予算をお願いしたところだ。  
**教育長** 「光をそそぐ交付金」事業を利用して、3月補正でお願いし、本年度に繰り越している。節電については、充分配慮しながら活用したい。  
**山口** 市の建物や公園にある自動販売機の撤去や、エアコンを省エネタイプに取り換えるなどの取り組みはいかがか。  
**市長** 具体的にものを動かすことは、まだ検討し

## 小学校図書室への エアコン設置の見直しは

山口 忠孝 議員

答 国の交付金事業であり設置したい

ていない。  
 クールビズや緑のカーテンなどを実践し、クーラーをつけないでいいところはつけないでやっていこうと考えている。  
 俵坂トンネル工事から出る湧水について

**山口** この湧水が椎葉川に放流されていると聞いているが、今後も続けていくのか。  
**市長** 工事中なので、完成後どうなるかわからない。  
 しばらく様子を見るつもりだ。  
**山口** 下岩屋地区の農業用水不足の解消と、雨量が少ない時期の塩田川の流量増大のために検討をお願いしたい。

虚空蔵山の登山道について

**山口** 登山道の駐車場の手前のところが狭く、危ないので整備できないか。  
**市長** これまで、いろいろ

る課題がありながら、少しずつ拡げてきたところだ。

**山口** 登山道の整備は、登山客の増加で不動山地区の賑わいにも役立つ。ぜひお願いしたい。



オープンスペースの図書室（嬉野小）

観光素材の宝庫である不動山地区を観光に活かせ

**山下** 長崎街道の俵坂峠に看板、俵坂関所跡の道路整備、切支丹遺跡の図解説明、虚空蔵山登山道の整備など、少し手を入れれば不動山地区が活かされると思うがいかがが

**市長** できる限り整備していきたい。  
**山下** 観光協会を通じ、旅館の社員研修などに現地説明の場として使っていただきたい。

**副市長** 検討し、観光協会の役員会で提案したい。



改修がまたれる諸津線

諸津線の改修について

**山下** 市道諸津線は危険箇所として、地元から陳情もあっているが、改修の計画はあるのか。

**市長** 大規模な工事になるので引き続き検討する。委託料を安易に外部委託していないか

**山下** 委託料は運用規定を作るべきではないか。  
**市長** 監査などで適切に処置をしている。



**辻** 今回の東日本大震災において、ため池の崩壊によって山からの津波ということが問題になった。市内のため池に危険なところは無いのか。

**市長** 程度の問題はあるが、地元から要望はあがっている。先日ため池の一部が崩落している箇所を点検した。

**辻** 補修する場合、受益者負担が発生するが、耕作放棄などもあり、昔のままの条件で負担を求めた場合、難しいと思うがいかがが。  
**産業建設部長** やはり負担を求めるのは難しい状況だが、あくまでも所有権は地元にあるので、今後協議していく必要がある。

ただ、大部分の地区において受益者は足りていると思う。

# 老朽ため池の整備はどうする

## 答 緊急性を見ながら対応している

辻 浩一 議員

**辻** 昔ながらの地権・水利権は見直す時期にきていると思うがいかがが。  
**市長** 時代の変遷により、昔の制度というのについては、やはり変化があつてしかるべきだと考えるが、全国的にこういう意見が出てこないと思つていられないと思う。

**辻** 地域から自発的に見直すのは、難しい部分もあり、行政からの投げかけも必要と思つたので検討されたい。

被災後の体制はできていますか  
**辻** 被災をした場合のボランティアや支援物資の受け入れ体制は整っているのか。  
**市長** ボランティアの受け入れは、社会福祉協議会を柱にして組織化しなければと思つている。

被災後の体制はできていますか  
**辻** 被災をした場合のボランティアや支援物資の受け入れ体制は整っているのか。  
**市長** ボランティアの受け入れは、社会福祉協議会を柱にして組織化しなければと思つている。



関係者による調査風景

**辻** 支援物資の保管場所は確保できているのか。  
**市長** 公的施設で受け入れる形になる。

**辻** 公的機関で間に合わないとき、民間の施設も必要と思つたが、提携できているのか。  
**市長** 市所有で間に合わない場合、次は地区所有、

その次に民間にお願いする。観光資源の開発を急げ  
**辻** 行政丸抱えでは無く、地元、観光業者と協力すれば、観光スポットが増えると思つたがいかがが。  
**市長** 手付かずの場所があるので、今後整備、掘り起こしは継続していく。



# ごみ中継基地の今後は

神近 勝彦 議員

## 答 利便性を損なわない形を検討したい

**神近** 廃プラは再利用するために仕分けされているが、焼却場では食物残渣ばかりになり、燃えにくいという現状がある。

**市長** 新しい施設が完了すると、地域全体の分別などについても話し合いがおこなわれるので、発言については伝えたい。

**神近** 中継基地があることで、一般家庭や事業所は便利である。

**市長** まだ、そこまでの検討にはいたっていない。

現在のコンテナ方式自体には、課題があることも承知しているの、市民の

利便性を損なわない形で、新しい方法がとれないかどうか踏まえ検討しないといけない。

**神近** 住宅地内を通る現在の道路は現状のまま使用可能ということと理解しているのか。

**市長** 近隣の方々のご理解をいただきながら通行しているが、今後も道路の整備なども進めていきたい。

**神近** 22年度の収支はどうだったのか。

**観光商工課長** 単純計算では、548万円の赤字となるが、一般会計からの繰入金差し引くと赤字となる。

**神近** 去年の4月から今年の3月までの1時間おきの利用者を見ると、平日の朝6時から8時まで

は、0人から5人程度であり、週末は多くの方が利用されている。

**市長** 健全運営を考えれば、平日は朝9時から夜10時までというように、職員の人件費を抑制すべきと思うがどうか。

**市長** いろんな案内や企

画も続け、お客様に来ていただく努力を継続しなければならぬ。

**神近** 運営は指定管理者へ移行し、その時には営業時間の変更もすべきと思うがどうか。

**市長** 準備しながら対応できればと考える。



継続が望まれるコンテナ方式

# 皿屋地区残土処分埋立地の整備は

副島 孝裕 議員

## 答 納戸料地区からの取付け道路を整備したい

の要望があがっている。また、人口減少の進む吉田地区の定住促進のための施策として、住宅団地の造成は効果があがると思うがいかがか。

**市長** 皿屋地区周辺の市有地については、納戸料地区からの取付け道路を整備したい。

財政的課題があり実現していないが、今後も引き続き努力したい。

**副島** 下宿地区ふれあい団地周辺、三坂ため池横の市有地について、県道嬉野下宿塩田線が一部開通すれば、飛躍的に利便性が向上すると思われる。周囲の環境もすばらしく、閑静な戸建の住宅団地に開発できないか。

**市長** 福祉ゾーン周辺の市有地については、地域の方からお譲りいただいた土地であり、地域の要望に答えられる様、幅広い視野で取り組みをしていきたい。

**副島** 県道バイパス工事に伴う残土処分地は、埋立て後、年数が経過し地盤も安定しているが、管理ができていないため、イノシシの被害が激しく、周辺地区から早急な対応



**市長** 老朽化した湯野田・内野山・皿屋の市営住宅の建て替え計画につ





# パフォーマンスはホドホドに

園田 浩之 議員

## 答 私の考えでやらせていただきたい

**園田** 昨年は当初見込みより使用料が、約

1,400万円(一日換算100人)の大幅な減収だがその理由はなにか。  
**観光商工課長** 夏場の猛暑、浴室、洗面所が狭い

とか、シャンプー、リンスもない、それから駐車場が遠い、市内のお客様が予想より少なかった、などが要因と考える。  
**園田** 5月の連休中、私は自分の目を疑った。

「シーボルトの湯」の前でハッピを着た市長が、お客さんに挨拶とか、道案内など、もてなしをしている満足そうな姿でした。

「市長さん色々大変ですね」という、とらえ方もあるでしょうが、これは市長の仕事ではなく、市の職員の方々にやっていただき、申し訳ないが私には市長のお姿が裸の

王様に見えて残念至極であつた。

市長はトップダウンで何でもできる立場なので、そのようなパフォーマンスなんかより、いかにすれば客が増えるか、リピーターが何度も足を運んでくれるかを担当部課長と策を練り、観光客の増加、税収の増加などを

はかるのが本来の仕事ではなからうかと思うがいかがか。  
**市長** 新茶の販売などもやっているの、私の考えでやらせていただきました。

観光案内のパンフレット作製について  
**園田** 観光案内のパンフレットはいくつもあるが、ストーリー性に乏しく、自家用車、自転車、徒歩と市民向けのいるんなバ

ターンの観光案内マニュアル書を作成されてはどうか。  
**観光商工課長** 今回予算で作成するように予定をしている。

**園田** 市民に配付できるものか。  
**観光商工課長** いろんなところに配付する予定をしていたが、増刷して各世帯にも配布をしたい。

**園田** ここまで観光客が落ち込んだ今日、観光協会とか旅館組合にとどまらず、嬉野市民全員が丸となつてお客さんに観光案内できるような体制を早急につくるべきだ。  
**観光商工課長** 観光協会の中に「地域力開発プロジェクト」というのができており、これからは市民全体で観光行政を担っていただきたいと思つている。

いては、管理を継続しながら、当面は市営住宅として利用いただきたい。厚生住宅については、本年度中に移転などを御相談申しあげ、取り壊しの方向で考えている。

また、残地については売却を計画していきたい。小水力発電の導入調査の現状は

**市長** 嬉野地区においては、以前調査をおこない、横竹・岩屋川内ダム周辺、広川原地区周辺が可能地域としてあげられており、塩田地区については調査

ができていない。水量の変化などもあつており、市内全域にわたリ、引き続き調査が必要になると思つ。

**副島** 再生可能エネルギーを利用した小水力発電の導入は、自らが発電した電気を使うことで、節電に対する意識が大いに高まると言われており、大震災後の市民の節電の意識の高揚につながるものと思つ。



増客が望まれる「シーボルトの湯」



どう利用する残土処分地

# 小中学生の通学路は安全か

織田 菊男 議員

答 継続的な対策をおこなっている



**織田** 通学路の安全確保などは大丈夫か。  
**市長** 保護者、地域、学校などの意見をいただきながら、安全対策をとっている。

また歩道や横断歩道、道路標識、信号、ミラーなど多岐にわたるが、今後も設置する。  
**教育長** 毎年、危険地域の把握をしている。

安全マップ、学校安全計画をもとに事故防止対策をおこなっている。  
**織田** 通学路整備の優先順位はどのようになっていくのか。

**教育長** 教育委員会では、平成21年度に調査した。危険度が高い交差点や交通量などの諸条件を考えたうえで、総務課や市長部局に対応をお願いしている。

また、不審者対応も視野に入れ考えている。  
**織田** 地元よりの陳情に対しての対応はどうしているのか。

**市長** 地域より出された陳情、要望については、必ず所管課において、申し入れされた方々に対して返事をしている。

予算を要するものについては、既決した予算内でできるだけ早く対応している。  
大きな予算が必要なも



**西村** 福島県内の一部の地域は、原発事故で放射能汚染による被曝の恐怖と不安に襲われている。原発の危険性について市長の見解をうかがう。

**市長** 原発事故の収束が見えていないが、一日も早い安全が確保されるよう期待している。  
**西村** 嬉野市でも放射線量測定器を配備すべきと思うがどうか。

**市長** 市民に情報を的確に公開するため放射線量測定器を購入したい。  
**西村** 放射線を浴びた場合死亡やガンになるといわれているが、人体に与える影響をうかがう。

**健康づくり課長** 年間積算量500ミリシーベルトで白血病になるといわれている。  
玄海原発2号・3号機の再稼働について

# 放射線の危険性は

西村 信夫 議員

答 500ミリシーベルトで白血病になるといわれている

**西村** 福島原発事故の収束の目途がたない状況で、玄海原発2号・3号機の再稼働は認められないと考えるがいかがか。

**市長** まだ佐賀県は再稼働に同意していない。私も同じ立場である。プルサーマルの危険性は

**西村** 玄海3号機はウラン燃料とプルトニウム(MOX燃料)を使用しているが極めて高いといわれているが市長の考えをうかがう。

**市長** 普通の原子力発電所以上に健全な安全確保が求められる。自然エネルギー開発は

**西村** 原発事故を受け、今後原子力発電から自然エネルギー開発に取り組みすべきと思うがいかがか。  
**市長** 原発のエネルギー

から自然エネルギーを利用した電源の確保に向かうべきと考えている。原子力災害対策は

**西村** 本市の防災計画に原子力災害を盛り込むべきと思うがいかがか。  
**市長** 原子力を含めた防災計画見直しの準備をしている。

**西村** 今年夏の電力不足が予想されるが「緑のカーテン」の取り組みはどうする。  
**市長** みどりのカーテンとして「ゴーヤ」を取り組む。



核も原発もない社会の実現

のは、新規に予算措置をおこなっている。

### 小中学校の耐震は

**織田** ここ数年、地震に對しての問題がおきているが対応はどうしているのか。

**教育長** 耐震診断は、昭和56年以前に建築された学校が対象で、市内の小中学校の耐震診断は、平成21年までにすべて終了している。

耐震補強など、何らかの手立てが必要となる学校については、平成22年度に大草野小学校と大野

原小中学校の耐震補強工事を実施した。

今年度は、久間小学校の校舎と体育館の耐震補強工事を実施する予定である。

また、塩田小学校は、24年度以降に耐震補強工事をおこないたい。

塩田中学校については、現在、改築工事にむけて、基本設計事業をおこなっており、改築工事が済めば市内の小中学校すべての耐震性が確保できると考える。



完成まぢかの県道改良工事



### 山口

行政機関の公文書などを保存、活用することを規定した「公文書管理法」が4月に施行されたが、現況の保存はいかにしているのか。

**市長** 現在、ファイリングシステムを導入し、適切に対応している。

また歴史的な文書などについても永久保存に取り組んでいる。

**山口** 今後、公文書を活用するための中核となる専門職員の育成が必要と考えるがどうか。

**市長** 専門職は必要と思うが、常時雇用となると無理があるのでシステムを活用し、数年に一度専門家に頼みながら適正な保存に努めたい。

### 節電対策どうする

**山口** 本市としての節電対策はどのように講じていく考えなのか。

## 公文書管理の保存は

### 答 適切に対応している

山口 要 議員

**市長** クールビズの1ヶ月前倒し対応や、水曜日の退庁時間の徹底、また緑のカーテンの計画など実施をしていきたい。

**山口** フレックスタイムに取り組む考えはないか。

**市長** 効果について検証しながら検討したい。

**山口** 節電対策としてのLED電球対策は、いかに考えているのか。

**市長** 防犯灯の取り換えを含めて、ぜひ取り組んでいきたい。

**山口** 市民への「緑のカーテン」作りの呼びかけをしてみているか。

**市長** 今年、まず市役所でやってみて効果があれば来年は進めていく。

### 観光問題への対応は

**山口** 今回の震災におけるキャンセルは、どのような状況か。

**市長** 海外が82件の1、877人、国内が516件の9、724人となっているが、未報告まで含めると、全体で1万数千人の取り消しがあった。

**山口** 夏枯れ対策には、どう取り組んでいくのか。

**市長** なぎなた大会や、全国女子ソフト大会に期待をし、加えてプレミアム商品券の効果などで集客力を継続したい。

**山口** 老人会誘致対策として公認グラウンドゴルフ場を積極的に活用せよ。

**市長** 現在も利用してもらっているが、今後も旅館関係などに利用を呼びかけていきたい。



整理されている公文書

# 釉薬の木を

## 志田焼の里に植樹

嬉野市議会の森林活性化議員連盟は、4月18日志田焼の里博物館に「イスの木」(方言ではサルフウ)を10本植樹しました。

議員連盟の植樹は毎年おこなっており、昨年は広川原キャンプ場に「山法師」を植樹しました。

今回植樹したイスの木の灰は、高級な釉薬として使用されており、志田焼の里博物館の記念樹にふさわしいとの意見から決定しました。

数年後には、実が生りサルフウと呼ばれる意味がわかると思います。



元気に育ってほしい「イスの木」

### 開かれた議会をめざして進行中

議会は、市政の課題を的確に把握して、市民の皆様からの意見や要望などを反映しながら、政策立案・政策提言をおこなう議会として資質の向上に努めなければなりません。

嬉野市議会では、平成21年7月1日に議会基本条例を制定し、年2回の議会報告会を開催して、市民全般の意見を聞いたり、委員会の勉強会の充実など議会の改革に取り組んできました。

議会改革特別委員会では、平成22年7月1日から平成23年3月31日までの期間を対象に、議会の改革の成果と自己評価をおこないました。

概ね全体では基本条例に沿った取り組みに近づくつつありますが、更なる改革を進め、市民の皆様の見解や要望が市政に反映できるように努力していく必要があります。

自己評価の一部を掲載します。全体の評価については議会事務局に問い合わせただければ公開しません。

#### 交際費支出状況

(平成23年4月1日～平成23年6月30日)  
(単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	2	20,500
御祝	1	5,000
会費	2	14,000
その他	0	0
計	5	39,500

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等
- ・その他の内訳

目的	該当条文	条例の主旨および内容	達成度	今後の取り組み	進捗状況および実績
市民参加および市民との関係	第1項	説明責任		拡充	議会だよりの配布、議会報告会の実施
	第3項	参考人および公聴会制度の活用		拡充	請願において参考人招致を実施
政策討論会	第10条		×	実施	現在、委員会で検討中
議会による研修の充実強化	第12条		×	実施	今後の課題
議会事務局の体制強化	第13条		×	実施	監査委員事務局と分離